

## 地域01：地域医療におけるプライマリケアの実践

日時：6月4日（火） 1時限

担当者：廣岡 伸隆(地域医療科) 高橋 慶(医療生協さいたま川口診療所)

内容：

診療所におけるプライマリ・ケア

1. プライマリ・ケアの考え方、実践について説明できる。
2. 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性について説明できる。
3. 総合診療専門医、家庭医の役割を説明できる。
4. 地域医療における医師の役割を説明できる。

キーワード：

プライマリ・ケア、5つの理念、家庭医、家系図、学校医、産業医

教科書：

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社

## 地域02：プライマリケアにおける生物・心理・社会モデルの活用

日時：6月4日（火） 2時限

担当者：廣岡 伸隆(地域医療科) 高橋 慶(医療生協さいたま川口診療所)

内容：

地域で診療するプライマリ・ケアにおいて核となる生物心理社会モデルや他のシステム思考を学修する

1. プライマリ・ケアの機能・役割について説明できる
2. プライマリケアと家庭医療の関係を説明できる
3. 生物心理社会モデルについて説明できる
4. 患者中心性・慢性疾患などのシステム思考のケアを概説できる

キーワード：

プライマリ・ケア、生物心理社会モデル、システム思考、患者中心性、慢性疾患モデル

準備：

キーワードについてWeb等で調べ、それぞれのワードについて2～3行でノートに整理してから参加すること。(約15分)

## 地域03：地域医療・地域保健の考え方

日時：6月5日（水） 2時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

内容：

このユニットのオリエンテーションを行うので、遅れずに受講すること。

地域医療・地域保健のあり方を理解する。

1. 地域医療、地域包括ケアの考え方を説明できる。
2. ヘルスプロモーションの考え方を説明できる。
3. 地域における保健・医療・福祉・介護・教育の連携について説明できる。
4. 地域における専門職種間連携の必要性について説明できる。
5. 今後の地域医療の在り方について説明できる。

キーワード：

地域医療（コミュニティヘルス）、ヘルスプロモーション、健康づくり、支援的環境、行動変容、地域包括ケア(システム)、地域医療ビジョン、介護保険制度、介護予防、専門職連携、保健所、市町村保健センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会、自立支援、生活支援、教育委員会、在宅医療、

教科書：

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第1章②p8-15④p26-27(15分)

**準備：**

教科書の該当部分を読んでから参加する。(30分)

**地域 04：わが国の健康課題と地域医療の現状**

日時：6月5日（水） 3時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

**内容：**

地域医療の現状と課題を理解する。

1. 我が国の保健医療上の問題点について説明できる。
2. 医療法に基づく地域医療体制（地域・救急・災害医療）の整備について説明できる。
3. 地域の医療資源の現状と課題について説明できる。
4. 医師の偏在の現状について説明できる。
5. へき地及び離島における地域医療の現状と課題について説明できる。

**キーワード：**

少子高齢化，生活習慣病，医療崩壊，医療計画，基準病床数，地域医療支援病院，医療法，地域保健法，救急医療，災害医療，へき地医療，離島医療，地区診断，病診連携，病病連携，地域連携クリティカルパス，医師法，健康増進法

**教科書：**

◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第1章①p2-7、③p16-25⑤p28-33(15分)

**準備：**

教科書の該当部分を読んでから参加する。(15分)

**地域 05：地域診断と臨床診断のプロセス**

日時：6月7日（金） 3時限

担当者：大野 洋一(医学教育センター)

**内容：**

疫学や統計の知識を地域医療でどのように役立てるか学びましょう

1. プライマリ・メディシンにおいてよく診る疾患の診断の流れを説明できる。
2. 疾患の頻度と効率的な検査を組み合わせた診断の違いを説明できる。
3. プライマリ・メディシンにおける EBM の3要素を説明できる。

**キーワード：**

プライマリ・メディシン，臨床診断，EBM，検査前確率，検査後確率，陽性尤度比，バイアス，科学的根拠，臨床経験と病態生理学的知見，自己意思決定

**参考書：**

◆ 日常診療に使える臨床統計学 2005 能登洋，羊土社

**準備：**

キーワードについて「疫学」ユニットや「診療の基本」ユニットで学んだことを復習してこること(15分)

**地域 06：地域包括ケアからケアする社会へ**

日時：6月12日（水） 2時限

担当者：中野 智紀(東埼玉総合病院)

**内容：**

幸手モデルを通して住民主体の地域包括ケアシステムの概念を理解する。

1. 住民主体地域包括ケアシステムの概要を説明できる。

2. 在宅医療拠点事業の概要を説明できる。
3. 暮らしの保健室の目的と活動、成果を説明できる。
4. 地域づくりにおける医師の役割を説明できる。
5. 地域連携において役立つ能力について説明できる。

**キーワード：**

地域包括ケアシステム，地区診断，ソーシャルワーク，在宅医療介護連携拠点，幸手モデル，ケアする社会

**準備：**

「北葛北部医師会在宅医療連携拠点菜のはな」について以下の URL から確認し、活動の一端を知ってから参加する。

<https://satte-med.com/reports/category/nanohana/> (20 分)

**地域 07：地域医療ネットワークシステム**

日時：6月12日（水） 3 時限

担当者：中野 智紀(東埼玉総合病院)

**内容：**

地域医療連携を目的としたネットワークシステムの意義について理解する。

1. 医療連携の課題について説明できる。
2. 医療連携のためのネットワークシステムの仕組みについて説明できる。
3. 保健医療情報を共有するときに配慮すべきことを列挙できる。
4. 地域におけるネットワークシステムの意義を説明できる。

**キーワード：**

とねっと，埼玉利根保健医療圏，在宅医療連携拠点事業，患者情報共有

**準備：**

とねっとに関して HP を確認してこること。 <http://saitama.jinai.jp/tonet/> (15 分)

**地域 08：地域における健康行動科学**

日時：6月19日（水） 4 時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

**内容：**

地域社会において健康づくりを行う上で必要な行動科学的な知識、実践方法の概要について説明できるようにすることを目指している。

1. 地域における医師の活動と医師の責務について説明できる。
2. 健康教育、保健指導における行動科学的な考え方について説明できる。
3. 行動変容のプロセス、ステージについて説明できる。
4. 我が国の健康づくり対策の概要について説明できる。

**キーワード：**

**ユニット：**

行動変容、ヘルスプロモーション、プレシードプロシードモデル、病者役割、自己効力感、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、主観的健康観、ソーシャルネットワーク、PDCA サイクル、社会的決定要因

**★コアカリ：**

健康の社会的決定要因、病人役割

**教科書：**

- ◆ 地域医療学入門（診断と治療社） p130-140

予習：

キーワードについて調べる（15分）

復習：

シラバスの項目について2～3行でまとめる（20分）

### 地域09：地域住民の健康とかかりつけ医の役割

日時：6月21日（金） 1時限

担当者：大野 洋一(医学教育センター)

内容：

地域におけるかかりつけ医の役割とその健康増進や疾病予防へのかかわりを概説する。

1. 健康の定義を確認できる
2. 健康を規定する要素を挙げることができる
3. かかりつけ医の役割を説明できる
4. 地域における健康増進と疾病予防の考え方を説明できる
5. かかりつけ医に係る健康増進の例を挙げることができる
6. かかりつけ医がかかわる疾病予防の例を挙げることができる

キーワード：

### 地域10：多疾患併存へのアプローチ

日時：6月25日（火） 4時限

担当者：廣岡 伸隆(地域医療科)

内容：

複数の疾患を抱える患者や生活者に対する医療の在り方や医療提供方法について学習する

1. 人口動態に基づく疾患発生や罹患について説明できる
2. 複数疾患の併存患者や生活者での医療的な課題を概説できる
3. 疾患予防の概念を説明できる
4. ライフステージに合わせた多疾患併存の概念を説明できる

キーワード：

人口動態、疾患予防、多疾患併存、ライフステージ

準備：

キーワード及び人口動態と疾患の関係について調べる

### 地域11：慢性疾患のケアと予防医療の実践方法

日時：6月25日（火） 5時限

担当者：廣岡 伸隆(地域医療科)

内容：

慢性疾患を持つ患者や生活者への医療提供方法や慢性疾患の予防方法について学習する

1. 慢性疾患を定義できる
2. 生活習慣と慢性疾患との関係性を説明できる
3. 疾病予防の概念を説明できる
4. 包括的予防について説明できる
5. 慢性臓器障害の概念を説明できる
6. 国の健康増進施策について概説できる

キーワード：

疾病予防（1次～3次予防）、生活習慣、慢性臓器障害、健康日本21

**教科書：**

- ◆ 講義配布資料

**参考書：**

- ◆ 国民衛生の動向

**地域 12：高齢者・障害者のケア**

日時：9月10日（火） 4時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

**内容：**

1. 要介護者の年齢・障害による支援体制の違いについて説明できる。
2. 要介護者の疾病、介護度、家族や家庭、生活環境などの背景に沿ったケアについて説明できる。
3. 要介護者のニーズと社会資源をつなげるための方法について説明できる。
4. 患者中心の多職種連携に必要なケアマネジメントのプロセスについて説明できる。
5. 地域で多様な職種と連携することの意義について説明できる。

**キーワード：**

介護保険法，障害者総合支援法，介護支援専門員，居宅介護支援，介護認定審査会，かかりつけ医の意見書，社会福祉士，理学療法士，作業療法士，臨床検査技師，保健師，看護師，介護福祉士，ケアマネジメント，ケアプラン

**教科書：**

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社 第1章④p26-27 第2章③p45-59

**準備：**

教科書を予め読んでから講義に参加すること（15分）

**地域 13：ライフサイクルと家庭医療**

日時：9月12日（木） 1時限

担当者：市川 聡子(医学教育センター)

**内容：**

1. 幼少期から高齢者まで、人生の各段階に応じた健康問題/予防医療について説明できる。
2. さまざまな年代の女性の健康問題について説明できる。

**キーワード：**

**ユニット：**

家庭医、ライフサイクル、ライフコース、ライフステージ、家族志向のケア、ヘルスマンテナンス、継続的なケア、BPSモデル、Women's Health

**予習：**

キーワードについて、文献、Web等を用いて調べておくこと（15分）

**復習：**

学習内容について、2～3行くらいでまとめておく。（15分）

**地域 14：職場と地域のメンタルヘルス**

日時：9月12日（木） 5時限

担当者：吉益 晴夫(総セ 神経精神科)

**内容：**

1. 国内の自殺件数の推移について説明できる。
2. 精神疾患の社会的コストを、直接費用と間接費用に分けて説明できる。

3. 職場のメンタルヘルスと関連する法律を列挙できる。
4. メンタルヘルスに関連する産業医の職務を説明できる。
5. 労働安全衛生法に基づくストレスチェックについて説明できる。
6. 職場のメンタルヘルスにおける一次予防、二次予防、三次予防を説明できる。

**キーワード：**

社会的コスト、ラインケア、セルフケア、ストレスチェック、一次予防、二次予防、三次予防

**準備：**

「精神」ユニットで学習した内容を講義資料等を参考に確認してから参加する。(15分)

### 地域 15：地域医療における緩和医療

日時：9月13日（金） 5時限

担当者：岩瀬 哲(緩和医療科)

**内容：**

緩和ケアに係る要素とそのケアの実際を学修する

1. 緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケア）を概説できる。
2. 緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。
3. 疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、がん疼痛治療法を説明できる。
4. オピオイドの適応と課題を説明できる。

**キーワード：**

ホスピス、緩和ケア、緩和ケアチーム、苦痛、薬物療法、がん疼痛治療法、オピオイド

**参考書：**

- ◆ 朝倉内科学書第11版 I p184～188

**準備：**

キーワードについて Web 等を用いて調べてくる。(15分)

### 地域 16：地域医療に従事する医師の職場と学校における役割

日時：9月20日（金） 1時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

**内容：**

地域における保健活動

1. 医師が地域に出向き多職種や住民と連携することの具体例を説明できる。
2. 健康の社会的決定因子について説明できる。
3. 医療とまちづくりについて説明できる。

**キーワード：**

**ユニット：**

母子保健、学校保健、精神保健、健康の社会的決定因子、健康日本 21

**教科書：**

- ◆ 地域医療学入門 2019年 診断と治療社 第2章⑨p113-117 第3章④135-139

**予習：**

教科書を読んでから参加すること (15分)

### 地域 17：連携を基盤とした在宅医療 1

日時：9月26日（木） 1時限

担当者：中井 秀一(医学教育センター)

**内容：**

地域における多職種連携を重視した在宅医療について学習する

1. 在宅医療の概念と必要とされる理由を説明できる。
2. 病院医療と地域診療所の役割の違いを説明できる。
3. 介護保険について説明できる。
4. 多職種の役割について説明できる。
5. 在宅で必要となる医療の要点を説明できる。

**キーワード：**

在宅医療、病診連携、診診連携、IPW、とげとげの図、訪問診療、訪問看護、介護保険、在宅療養支援診療所、地域調剤薬局、在宅支援病棟、プライマリケアの ACCCA、多疾患併存、リハビリテーション、胃瘻、CV 管理、BPS モデル、家族志向生アプローチ、ポリファーマシー、患者中心の医療

**教科書：**

- ◆ 地域医療学入門、診断と治療社 2019年8月9日発行 第2章 P42-44

**参考書：**

- ◆ 中根晴幸著 次代を担う医療者のための地域医療実践読本 幻冬舎 2017

**準備：**

キーワードについて教科書、文献、Web 等を用いて調べておくこと。(15分)

**地域 18：連携を基盤とした在宅医療 2**

日時：9月26日（木） 2時限

担当者：中井 秀一(医学教育センター)

**内容：**

地域における多職種連携を重視した在宅医療について学習する

1. 地域医療連携、多職種連携について説明できる。
2. 在宅緩和医療、在宅小児医療について理解する。
3. 在宅多職種連携で必要とされるリーダーシップ、マネジメントを理解する。

**キーワード：**

緩和ケア、小児診療、トラジション、ACP、COPC サイクル、CBPR、地域包括ケアシステム、リーダーシップ、プロジェクトマネジメント、オンライン診療

**教科書：**

- ◆ 地域医療学入門 2019年 診断と治療社 第5章 p164-166

**参考書：**

- ◆ 中根晴幸著 次代を担う医療者のための地域医療実践読本 幻冬舎 2017

**準備：**

キーワードについて教科書、文献、Web 等を用いて調べておくこと。(15分)